

神奈川県 高校入試情報

令和7年度神奈川県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

- 大問1 漢字・俳句 井沢正江「天心の月の左右なる去年今年」
大問2 小説 砥上裕将「一線の湖」
大問3 論説文 岩内章太郎「＜私＞を取り戻す哲学」
大問4 古文 「太平記」
大問5 表現 石田光規「『友だち』から自由になる」
大問5 表現 出口顕「声と文字の人類学」

例年同様、大問5題の構成。全体的に文章量がやや多いが、難易度は標準的といえる。大問5にだけ記述式の出題があり、全体的な時間配分に注意が必要である。

★神奈川県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■記号選択問題の対策

ほぼ記号選択問題で構成されているのが、本県の入試の特色といえる。選択肢が長く、一見正しい選択肢のように見えるため、正誤判断をする力が要求される。類題に多くあたり、出題形式に慣れておきたい。

新研究で対策！

- 巻頭特集「国語のキホン」(p. 2～5)や、ウォームアップ特集「記号選択・記述問題のキホン」(p. 26～27)では、記号選択問題の解き方・考え方を、一から丁寧に解説しています。

■複数資料の読み取り問題の対策

例年大問5は、複数の資料を読み取る問題で、記述問題はこの大問から出されている。今年度は、2つの文章をまとめた内容の空欄補充が出題された。資料から重要なポイントをとらえる練習をしておくとい。

新研究で対策！

- 「26 グラフ・図表を読み取ろう」(p. 136～139)や、「30 特別単元 複数の情報を読み取ろう」(p. 154～157)で、ポイントの確認と問題練習ができます。
●入試実戦講座⑪「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 184～185)で、近年増加傾向の活用問題の特集しています。

令和7年度神奈川県入試では、品詞の識別問題が出題されました。まぎらわしい品詞の見分け方をおさえておきましょう！



★神奈川県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
漢語 字句	現代文	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう	●			
		文脈で語句の意味を考えよう	●			
		展開をとらえよう	●	●		
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう			●	●
		文章中の表現を味わおう	●	●	●	●
		話題・情報をとらえよう			●	●
		指示語・接続語をとらえよう	●	●	●	●
		文章を解釈しよう	●	●	●	●
		理由をとらえよう	●		●	●
		段落構成をとらえよう	●			
		要旨をとらえよう	●	●	●	●
	古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう				
		古文の会話・主語をとらえよう				
		古文の展開をとらえよう	●	●	●	●
別出の題 傾向式	詩歌	漢文・漢詩を味わおう				
		詩・短歌を味わおう	●		●	
	文法	和歌・俳句を味わおう		●		●
		文の組み立てを知ろう				
		自立語を学ぼう				
		付属語を学ぼう	●	●	●	●
	表現・情報	敬語を使いこなそう				
		グラフ・図表をとらえよう	●	●		
		話し合いをとらえよう	●	●		
		伝え方の工夫を学ぼう			●	
		課題作文を書こう				●
	★聞き取り問題					
		大問数	5	5	5	5
		小問数	30	30	30	30
		記号解答	29	29	29	29
		記述式解答(漢字の読み書きも含む)	1	1	1	1

★新研究で出題した神奈川県の入試問題(令和7年度)

- p. 17大問3(5) 熟語
● p. 129(3) ①付属語